

平成 24 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落協定の概要

都道府県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：元怒和集落

交付金額：5, 168 千円

協定参加世帯数：38 人（うち漁業世帯 38 人）

2 協定締結の経緯

元怒和集落は、良好な漁場を有し、一本釣り、刺し網が盛んで、現在はアワビの養殖も行われている。離島というハンディを抱え、基幹産業である漁業において、漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、厳しい状況におかれている。

こうしたことから、漁場環境の保全、沿岸漁業資源の保護、新規養殖業の導入、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・キジハタの資源増大を図ため種苗放流を行った。（2,000 尾）
- ・アオリイカの産卵場を整備した。
- ・景観や自然環境を保全するため、集落周辺の海岸清掃を実施した。（年間 2 回）
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視を行った。（年間 2 回）

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・ハマチの蓄養に共同で取り組み、蓄養イケスを製作し所得の向上と集落の活性化を図ることとした。
- ・ヒジキの養殖を共同で取り組み、今回は、試験的に収穫時期を遅らせる措置を講じヒジキの増産を行うこととした。
- ・所得の向上と集落の活性化を図るため、水産物の簡易加工に共同で取り組み、加工品と鮮魚等をイベント（農林水産祭り）で販売した。

4 取組の成果

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・キジハタの種苗を放流することで、資源の増大が図れた。
- ・アオリイカの産卵場を整備することにより、アオリイカの生産量の向上が図られた。
- ・海岸清掃を実施することにより、自然環境の保全が図ることができた。

- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少し、漁獲量の増加も見込まれ漁家の収入安定が期待される。

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・蓄養したハマチの出荷、並びに水産物の簡易加工をイベント等で販売した結果、新規着業への意識向上や集落の収益増加に繋がった。

(蓄養ハマチの出荷量 825.9kg)

種苗放流	アオリイカ産卵場の整備
	
漁場監視	ハマチの蓄養
	
ヒジキの養殖	簡易加工品販売
	